

料金後納  
ゆうメール

一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などご縁を賜りました方に、ニューズレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要なとされる地元でのお役立ち企業を目指しております。東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

## 第45期 経営指針発表会 6月28日（豊橋商工会議所）

例年4月に行う経営指針発表会を、2カ月遅れで開催しました。時間外労働の上限規制や割増賃金率の増加など、遵守しなければならない法令が増える『建設業の2024年問題』が2年後に迫っています。

当社の就業規則や36協定も改定が必要となり、1年前から準備を進めていましたが、様々な課題や調整が必要となり、長引いてしまいました。今後も現場工程や休工日の調整など、業務実態に合わせた運用を行うには、お客様や取引関係者様との協議や調整を行う必要があり、課題は山積していますが、顧問社労士立ち合いのもと、新たな労使協定に社員代表の調印を頂く事ができました。

令和元年のパンデミックに始まり、未だ世の中の変化の荒波が収まる兆しはありませんが、呑まれる事の無い様、チームビルディングで働き方改革を実現していきます。持続的な生産性の向上と、人間らしい生活、安全性・快適性・遣り甲斐を感じられる労働環境の整備、インボイスやDX対応などの様々な課題に、恐れず・諦めず・粘り強く向き合って、突き進んで行く以外に道はないと思っています。我々を支えてくれるステークホルダーの皆様の信頼に叶うよう『みんなの幸せをカタチにする』という当社の経営理念の実現と、お役立ち精神で誰もが必要として頂けるよう躍進してまいります。



入社3年目迄の新人社員の決意表明（成長目標発表）



45期の目標は『チームビルディングで働き方改革！』

新人・中堅・ベテラン誰一人欠けることなくお役立ちの精神で、全員の目標達成(自己実現)を目指します！

## 優秀現場代人表彰 6月13日（名古屋観光ホテル）

新規入社36期生募集中！

元請取引企業、大手住宅メーカー様より、弊社現場監督を優秀現場代人として表彰をしていただきました。その他にも、現場の若手技能職の採用育成の取り組みと現場での活躍を取材いただき、全国の式典で紹介された建築技術専門校の紹介動画に取り上げていただきました。



伊藤仁孝次長（勤続20年目）とても誇らしげでした！



新たに建築技術者を目指す若者を積極的に採用しています！入社初年度は全寮制1年間のOff-JT研修制度を採用し、6名の2級技能士(国家資格)が建築エンジニアとして活躍しています。※詳しくは当社採用ページにて

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！

※ニューズレターをご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

## 建築に関するまつり②

新たに家を建てる、建て替える、取り壊す、など人生において

一大事にあたるといえます。このため私たち日本人は、建物を取り壊す前、新たに家を建てる前、家が完成後など、工事の無事を祈り感謝し、これからの幸せな生活を祈ってきました。建築に関するまつりは多種にわたりますが、そのうちの一部をここで紹介します。

### ～上棟式～

上棟式とは、建物の骨組みを作り最後に屋根の一番上で組む棟木を設置する棟上げが終わった後に行います。これまでの工事が終わったことに感謝し、残っている工事の安全や、建築後の家内安全を祈願する儀式です。前回ご紹介した地鎮祭は「日本書紀」に記載がありましたが、上棟式は記載がなく平安時代ごろから行われているそうです。本来は地元の神主に依頼して執り行うものですが、現場監督や職人が代行するケースが多くなってきました。また、最近では、略式での上棟式や、上棟式をしないことが一般的になっています。餅まきまで行うのはとても珍しいです。

(左から祭壇、四方祓、祝詞奏上、直会の様子)



営業・設計 山崎

## 日常生活への影響

ウクライナの戦争など社会情勢が日々変化するなかで、日本国内

内においても様々なところで影響があると感じています。ガソリンの値上がり、電気代の値上がり、各食材の値上がりは私自身生活のなかでも強い影響を受けているのを肌で感じています。建設業界では建築資材の値上がりが各メーカーから毎月のように情報が入ってきます。厳しい状況だからこそ、工夫して仕事をしていかなければならないと思います。特にエネルギーに関しては、今の生活欠かせないものとなっており、単純に物を作る業界の話だけでなく、運送を考えれば私たちの身近にあるどんなものにも影響があると思います。

建物にしても断熱性、太陽光発電システムの導入など性能基準が上がり、ただ住めれば良いということではなく、長く快適でより良い品質を求められるようになりました。ここ最近のニュースから物価高やエネルギー需要のことを聞き、物づくりだけでなく、生活全般のことも考え、東三河の地物地域に貢献できるよう工夫していければいいなと思いました。SDGsなど環境への配慮が世界的にも広がっているなか、弊社が行っている太陽光発電事業のように、ただ仕事をするだけでなく未来につながるような仕事ができればと思います。



建築不動産営業 筒井